

TSSS「コミュニティ総会

アイシン・コラボとTSSS(トヨタ・ソーンブロダクツマナージメント・システム)導入企業で構成するTSSSコミュニティ(会員数49社)の10年度総会が11日、名古屋マリオートアソシアホテルで行われた。

会には、32社から83人が出席。任期満了に伴う役員改選で、ミドリ安全の松村不二夫代表幹事ら、全役員の内定を決定した。

席上、アイシン・コラボの伊藤尚敏社長は、「前年度は、TSSSの物作りの考え方に関するセミナーが好評だった。国

内外で新しいお付き合いも始めた」など、この1年の会の活動の成果を振り返った。また、新入会員として原田(カトーフエスタ ハラタ)の紹介も行われた。

総会後は、二人の講師による経営革新セミナー。ヤナリストの内田裕子(財部誠一事務所)さんとの対談形式で自社の経営哲学を紹介。「お客様

の利益を中心にする。その求めること、困っていることを手当てしている。そこからすべてが始

にあるが、材料を安くたこうと交渉に時間が取られると納期が遅れる。納期が間に合わなければ、ビジネスにならない。間に合えば利益につながるし、当社も儲かる。信頼してもらえれば、見積もりは高くても受け入れてもらえる。納期を守れば、良い仕事も勉強をした方がよい。中国、台湾、韓国などの人達は日本のものを欲しがっている。メード・イン・ジャパンの優位性が増していく。だから輸出を考えることも大切」と力説した。

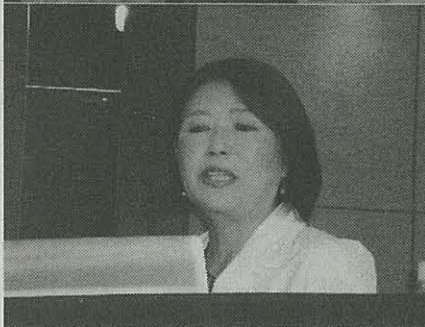
中小企業経営のあり方について講演

スピードある行動が大切

を開催。最初に講演した金属鋼材卸、松本商店の松本芳春会長は、経済競争、コスト削減の波の中

のものはどこでも買える。当社では必要な時に必要な数量を供給している」と、顧客第一主義、納期とスピードの大切さを強調。

また、自社のスタッフにビジョンを持たせることの重要性を説明。その際にも上から目線で強要するのではなく、「持たないよりも持ったほうが良い」と論じ、頭の中で作り出す努力を促し、実現するの強い思いを抱かせること、そのことを口に出す勇氣、それに向かつて頑張る行為、そうすることで夢が実現できることを語り、それにはまず自分が身をもって体験して見せること」が必要だとも話した。



松本商店松本会長と経済ジャーナリスト内田さんの対談(上)とアベックスのビューエル専務(下)の二つの講演が行われた

次に講演したアベックスの良子ビューエル専務は、「中小企業は大企業よりもコースチェンジがしやすい。今後、中国やインドにGDPで追い抜かれることが予測され、一段と閉塞感の強まる日本で企業を経営していく